



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	23,000	3,092,000 円	円安+インフレの影響で授業料が高くなっています。
宿舍費	500	67,115 円	小さな家2LDK を男 4 人でシェアした金額です。この金額はおそらく最安値だと思います。通常 800~1500 ドルくらいだと考えた方がいいです
食費	週 20	2,700 円	毎日自炊+苦学生のような生活をしていました(物価が高いうえ円安だったため)
図書費		円	授業料に含まれています
学用品費	20-160	2,700~21,000 円	古本で教科書を買えば安く済みます。教科書が多い場合は 160 ドルですべての教科書が電子版で見られるサービスがあります
携帯・インターネット費		月2000円	日本で使っているものをそのまま使いました。電話番号は無料で取得できるサービスがあったのでそちらを使いました
現地交通費		0円	15 分(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	20~40	約 4000 円	
被服費		円	基本的にお土産以外では服等は買いませんでした
医療費	160	20,000 円	就活に際しての健康診断のために一度だけ病院を利用しました
保険費		100,000 円	形態: 大学で義務づけられている海外旅行保険
渡航旅費		176,729 円	zip air を使いました。往路は 6 万5千円程度、復路が11 万程度でした。やはりコロナ後に増えた渡航者の影響と円安の影響を受けているようです。また、荷物が少なければもう少し安くなると思います
ビザ申請費	160	20,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	24,024	3,524,000 円	高額ですが、給付型奨学金等を利用すれば抑えることが可能です

## 渡航関連

渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: サンフランシスコ空港 経由地: ロサンゼルス空港	
復路 出発地: サクラメント空港 目的地: ロサンゼルス空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: zip air 料金: 65,000 円 復路 航空会社: zip air 料金: 105,000 円	.: 合計: 170,000 円
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: ZIP AIR)	
<input type="checkbox"/> その他( )	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)	
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: )	<input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室	<input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4)
3) 共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4) 住居を探した方法:	
当初 davis housing という大学から紹介されたサービスを使いホームステイを探していましたが、渡航1週間前にホストファミリーを割り当てられないという理由で急遽滞在先未定になり、文字通り昼夜逆転をしながらサブリースの掲示板、GSP のオフィサーへの相談、レンタル募集のサイトなどで探しました。渡航前日に連絡がつき、内見の予定を立てました。その後契約をすることが出来、タウンハウスの部屋を色々な国の方々とはシェアしていました	
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>感想</p> <p>国は違えど人の優しさは変わらないと率直に感じました。皆さん優しい方ばかりで外国から来た自分にも変わらず接してくださいました。人と人とのつながりを通じて多くの経験をさせてもらいました。イベントに飛び入り参加して三味線を弾いたことをきっかけに、太鼓団に入り、桜祭りや showcas で演奏したり、日本語のクラスのチューターになったことで一緒に教授とパフォーマンスをしたり貴重な経験をさせて頂きました。いわゆるキラキラした留学生活というよりリアルな充実した留学生活を送れたと思っています。</p> <p>アドバイス</p> <p>計画をしっかり立て、準備をしても予期せぬトラブルは起きるものです。(私は渡航直前にスマホが壊れたり、滞在先なくなったり、日本からの荷物が住所不定で危うく送還されたりするところでした)なのであまり気負わず何かあったら気兼ねなく人を頼りましょう、見ず知らずの人でも助けてくれます。</p> <p>カリフォルニアに留学する場合はそんなに海外だからと身構えずにいても大丈夫だと思います。アジア系の方も多ですし、コミュニティもあります。その分日本文化に精通していたりすると文化的な活動をするうえで役に立ちます。自分は小さいころからお囃子をやっており、大学に入ってからも津軽三味線のサークルで三味線をやっていました。留学先にも三味線を持っていき、イベントでの演奏がきっかけで現地学生の和太鼓サークルに入ったりしました。普通の留学生だと体験できないようなリアルな生活を体験できたと思います。</p> <p>留学先で日本文化の発信や交流をしたい方はぜひ津軽三味線サークル響に足を運んでみてください。</p>	

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし  
あり (治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし  
あり (問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インスタグラムやメールで防犯情報は手に入れていました5月に殺人事件がおき(davis ではほとんどの学生が初めてのことだと言っていました)その間は日没以降は全く外に出ないでいました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

当初壊れたケータイの代わりとして以前使っていたスマホを使用していましたが、ネットの受信がほとんどできず非常に困りました。修理したスマホを日本から送ってもらいそちらを使い始めると特に問題なく使えるようになったのでスマホとインターネットの相性や対応は気にした方がよいかもしれません

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に口座を開き日本から送金してもらいました。家賃代のみ現金で確保するためです。そのほかはクレジットカードを使用しました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

アイフォンのケーブルはこちらだとものすごく高価なので予備で持っておいた方がよいかもしれません

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカード、渡航前の8月

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
36単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: waitlist にのることが出来ない	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DRA 111 Presentation, Communication, and Collaboration Skills for International Students	プレゼンテーション&コミュニケーション、コラボレーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	fall quarter
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Michele Apriña Leavy
授業内容	留学生が多くいる授業でプレゼンテーションやコミュニケーション、特に人前で話すことに関して実際にテーマに沿ってプレゼンテーションを披露する授業です
試験・課題など	プレゼンテーションやグループワーク
感想を自由記入	非常に楽しい授業でした。留学を始めたばかりで友達もいない状態でしたが、留学生同士で仲良くなることができました。教授もすごく面白い先生で、非常に受けやすい授業です。ただユーモアやアクティブに参加することが求められるので恥ずかしがってやろうとしない人などには苦痛かもしれません

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Japanese tutor	日本語チューター
科目設置学部・研究科	Japanese department
履修期間	Winter and Spring quarter
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	tutoring(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	小山
授業内容	日本語のチューターをしました
試験・課題など	最終レポート

感想を自由記入	日本語チュータールームで学生の勉強の相談にのったり、教室で先生のお手伝いやモデルになったりしました。現地学生と関わることが出来自分の英語の能力もすごく高まったと思います	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	MGT170 Management Accounting and Control	履修した授業科目名(日本語): マネジメントコントロール
科目設置学部・研究科		
履修期間	Fall quarter	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 220 分が 1 回	
担当教授	Christopher Lynch	
授業内容	管理会計とマネジメントコントロールに関して学ぶ	
試験・課題など	中間、期末のテスト	
感想を自由記入	すごく難しく感じました。いわゆる upper class とされるもので、専門用語や概念を英語で理解する必要があるのですがついていくのに必死でした	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	MGT180 Supply Chain Planning and Management	履修した授業科目名(日本語): サプライチェーンマネジメント
科目設置学部・研究科		
履修期間	Fall quarter	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 220 分が 1 回	
担当教授	Albert Contreras	
授業内容	サプライチェーンマネジメントに関して講義で学び、グループで経営シミュレーションを行いました	
試験・課題など	グループワークと期末テスト	
感想を自由記入	グループで経営シミュレーションをおこなうのですが、メンバーがすごく熱心でそれに助けられました。内容も面白く受けてみてよかったと思う内容でした	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MUS 028 – Introduction to African American Music		アフリカンアメリカンミュージック入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	Winter quarter		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 3 回		
担当教授	Professor Simon		
授業内容	アフリカンアメリカンミュージックがどのように生まれ、進化してきたか。またどのようにアメリカ社会に影響を与えてきたかを学ぶ		
試験・課題など	レポートと期末試験		
感想を自由記入	内容は入門であるが、まったく予備知識がなく、ポキャブラリーもアカデミックなものではないのですごく大変に感じました。歌舞伎や能、狂言、雅楽を外国の方が日本語で学ぶ感覚に近いと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
WORKSHOP IN COMPOSITION		作曲ワークショップ	
科目設置学部・研究科			
履修期間	Winter quarter		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Prof. Kurt Rohde		
授業内容	様々な楽器の特性や演奏技法を学びその楽器に合った曲やフレーズを作曲する		
試験・課題など	各楽器の作曲とファイナル		
感想を自由記入	自分は三味線で曲が作りたかったので教授に相談しながら作曲をしました。多くの楽器の特性を知ることや他の楽器と組み合わせる作曲が出来る、非常に有意義だったと感じます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Globalization, Gender and Culture	グローバルイゼーションにおけるジェンダーとカルチャー
科目設置学部・研究科	WMS
履修期間	Winter quarter
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	Dr.Mama
授業内容	グローバルイゼーションにおけるジェンダー観の変化や影響、カルチャーや経済の影響を学んだり、調査をしました。
試験・課題など	レポート
感想を自由記入	非常に面白かったです。UCDらしい多様性を重視した授業であり、多くの学生が積極的に意見をを出していました。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

one career. global career

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は留学する夏以降から就活を始めるのは遅いと考えていたので留学前の春先から就職活動(自己分析や企業分析、説明会、インターンシップの参加)を始めていました。しかし、留学準備と並行して行うのは容易ではなかったと感じています。留学準備+αで就活が出来ると幸いですが、そこまで神経質にならなくてもよいと思います。  
11月にポストキャリアフォーラムに参加しましたが、内定は取れませんでした。しかし企業を知ることや面接練習もできたのでマイナスにはならなかったと思います。  
Global career という就活サイトを使っていましたが、留学生というだけでオファーが来るのでポスカリ前の早め(10月)に登録しておくといいと思います。  
結果的に留学をしながら内定をいただき就活をおえることができました

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、  
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	留学情報収集
	4月～7月	留学情報収集
	8月～9月	語学要件のため語学試験を受ける
	10月～12月	語学要件のため語学試験を受ける&出願申請
留学開始年	1月～3月	相手先に書類などの提出
	4月～7月	滞在先を探し始める、学費支払い、ビザ申請、航空券購入、
	8月～9月	滞在先が declined されたので探す、渡航
	10月～12月	秋クウォーター
留学/帰国年	1月～3月	冬クウォーター
	4月～7月	春クウォーター
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

### [留学先を選んだ理由]

私は当初デュアルディグリー制度を利用してヴィクトリア大学に留学することを目標にしていたのですが、語学のスコアが足りずカリフォルニア大学デイビス校を選びました。UC と言われるカリフォルニアの州立大学は総合大学かつトップレベルの大学なので学べる選択肢が多いと思い留学先として選びました。結果的に魅力ある大学で学べたことは非常に良かったです。

### [留学前準備]

留学前にはいろいろ準備がありますが、中でもビザ申請と飛行機チケットについてのアドバイスをしたいと思います。ビザの申請を早めしておくようにとよく言われますが、ビザの申請には時間がかかるうえ、申請フォームがわかりにくいと直前にすると焦ります。しかし、受け入れ先の大学から 1-20 などを受け取っていないとそもそも申請できないなどあるので注意してください。飛行機のチケットは出発日に近づくとも値段が高くなるのでこちらも注意してください。また経由地や留学先に向かうための交通機関にも注意してください。留学先の国に入国しただけでは留学先に到着したわけではありません。

### [留学し始めたばかりのとき]

まずは生活に慣れるのがいいと思います。どこに何があるのか、どこに行けば何が手に入るのかなどを徐々に知っていくようになると思います。キャンパスがとても広いと思うので最初は道に迷うことが多いと思います。秋クウォーターから留学を開始すると学生のクラブなどに入れる可能性がとても高いので入ってみるのを勧めます。

### [留学生活]

カリフォルニアは非常に物価が高いので外食などはほとんどせず自炊をしていました。日用品や食品もものすごく高いので、pantry とされる野菜や果物などが無料で手に入る学生用のサービスを利用していました。基本的にはキャンパスの移動は自転車です。そのため雨が降るとバスを使うこととなります(バスは学生証があれば無料)。しかし、本数が少なかったり、時間どおり来ないことも多いため気を付けてください。

### [クラブ]

davis anime club: アニメを見たりイベントを行うクラブです週 2 回 20:00-22:00 までキャンパスで活動していました  
会話アワー: 日本語を学びたい学生と交流するクラブです。  
デイビス爆発太鼓団: 日本でいう部活に近いです。太鼓を演奏するクラブでしたが、オーディションに受からなければ入れません。感覚としては高校の部活のようにしっかり練習がありますがその分部活の友達のようにかなり友達として深い関係を築くことができます。自分はこのクラブを通して様々な場所を訪れたり多くの経験をさせて頂きました。

### [バイト]

F-1 などのビザの学生はキャンパス内であればバイトをすることが出来ます。自分も張るクォーターの短い間でしたがバイトをしていました。貴重な経験になるとおもいます。

### [シェアハウス]

自分は留学先で初めてシェアハウスをしました。シェアハウスをすることで多くの場合家賃を抑えることが出来ます。秋クウォーターにはブラジル人、日本人、中国人とシェアハウスをしました。冬クウォーターにはブラジル人2人と韓国人とシェアハウスをしました。自分の感想としてはシェアハウスの良さはハウスメイトに依存します。自分と性格や価値観が近い人と住む場合では何の問題もないし楽しいですが、そうでないとかなり苦痛になるとおもいます。

### [滞在先の探し方]

基本的にデイビスではサブリースが主流です。そのため1年契約で自分のいない期間を他の人にサブリースして調整します(例 1カ月 \$850\*12カ月=\$10,200 最後 2カ月いない場合その 2カ月を代わりに住んでくれる人を探し、代わりに家賃を払ってもらう)。家賃の相場はシェアハウスで大体 \$850 以上だと思います。\$1,000 越えも普通にあります。他にもホームステイがあります。ホームステイは placement fee+day fee があります placement fee は期間でお金がかかり、day fee は一日何食かなどで変わります。ホームステイはビジネスで行っているのでホストによっては門限が厳しかったり、キッチンが使えないなどのルールが厳しいこともあります。知り合いの学生でホームステイを利用している人の多くが料理がおいしくないや日本食が恋しいといっていました。自分のようにいきなり declined される可能性もありますので注意してください。